

普代村は現在 地上アナログ放送

わたしたちの生活に欠かせなくなったテレビ。以前に比べチャンネルも多く、BS（放送衛星）なども見られるようになりました。

ところで今わたしたちが普通に見ているテレビ番組は「地上アナログ放送」です。「地上」というのは東京タワーなどの電波塔から発信している電波を使っているからです。

普代村に届いているテレビ電波も盛岡市の各テレビ

局から、紫波町の親局―二戸中継局―久慈中継局―野田中継局―普代田野畑中継局（柏木平地内）を経由し、皆さんの自宅に届いています。

これに対しては人工衛星から送信するBS（放送衛星）放送、CS（通信衛星）放送などがあり、一部デジタル放送も行っています。

岩手県内では NHKが開始済み

「アナログ」「デジタル」の違いを簡単に例えれば文字盤に針の時計や水銀柱で

読み取る体温計は「アナログ」。数字で時間や体温を示すのが「デジタル」です。

デジタル放送は映像や音声を送出する放送で、高画質、高音質、多機能が特徴。安定した受信ができるので車載テレビでは雑音の影響を受けにくく、携帯電話でもテレビを見ることが出来ます。

地上デジタル放送は平成15年12月関東圏、中部圏、関西圏の一部で先行して始まり、平成18年末にはすべての都道府県庁所在地で開

始される予定です。

現在、岩手県内ではNHK盛岡・教育テレビが平成17年12月に盛岡市近郊で開始し、そのほかの4民放送テレビ局も平成18年10月には始める予定です。

経済効果は 10年間で200兆円

では、地上デジタル放送を見るにはどうしたらいいでしょうか。それにはデジタル放送に対応した新型のテレビを買うか、現行のテレビに取り付ける専用のチューナーが必要となります。

現在、32型の地上デジタル液晶テレビは25万円以上、専用チューナーも5万円以上といずれも現事点では高価なこともあって、皆さんの関心はまだ低いところです。

とはいえものの、日本には自宅や職場などテレビ受像器が1億数千万台あるといわれています。また、テレビ局などは中継局の建設や番組制作費などが必要とされ、デジタル化の移行に伴う経済効果は、10年間で200兆円にも及ぶと予想されています。

地上デジタル放送の主な特徴

■ハイビジョンが楽しめます



16:9のワイド画面、ハイビジョンの高画質、CDなみの高音質で臨場感と迫力が楽しめます。

■ニュースや天気予報などが見られます



データ放送により、リモコンのボタンを押すだけでいつでもニュースや天気予報、そのほかの暮らしに役立つ情報などを見ることができます。

■高齢者や障害がある方へのサービスが充実



字幕放送が楽しめるほか、ドラマなどの筋書きを音声で紹介する解説放送をステレオで楽しむことができます。さらに受信機によっては音声速度も変えられます。

※画像はBSデジタル放送のものです

◎岩手県内テレビ局のデジタル化状況

放送局名	開始時期	視聴可能世帯数
NHK盛岡	平成17年12月に 開始済み	約26万世帯
NHK教育テレビ		
テレビ岩手	平成18年10月 (平成18年5月末から 試験電波を開始済み)	約25万世帯
IBC岩手放送		
岩手めんこいテレビ		
岩手朝日テレビ		